

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際原子力機関(RCA原子力科学技術に関する研究、開発及び訓練のための地域協力協定)拠出金(任意拠出金)			担当部局庁	軍縮不拡散・科学部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和57年度開始			担当課室	国際原子力協力室		室長 羽鳥 隆		
会計区分	一般会計			施策名	Ⅶ-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項			関係する計画、通知等	国際原子力機関憲章第14条F				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジア・太平洋地域の開発途上国を対象とした原子力科学技術に関する共同の研究、開発及び訓練の計画を、締約国間の相互協力及びIAEAとの協力により、促進及び調整する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「原子力科学技術に関する研究、開発、及び訓練のための地域協力協定」(RCA:1972年発効、我が国は1978年に締約国となった)は、農業、医療・健康、環境、工業、エネルギー、研究炉等の8つの分野における技術協力事業(セミナー、トレーニング・コースの開催等)を実施している。我が国は、人間の安全保障の観点から医療・健康分野を重視し、リード・カントリーとして同分野のプロジェクト形成や、放射線によるがん治療を促進するためのトレーニング・コース等の実施のために資金拠出を行っており、2008年RCA総会において、医療・保健分野はRCAの中で最優先分野であると評価されている。								
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☒ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	11	5	-	-		
	執行額		-	11	5				
	執行率(%)		-	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	RCAの我が国専門家派遣事業の裨益国数。			成果実績	裨益国数	1	4	5	8
				達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	活動指標は、医療・保健分野において計画されたプロジェクトの数。 活動実績は、実施されたプロジェクトの数。			活動実績 (当初見込み)	プロジェクト数	2	3	3 ()	- (3)
単位当たりコスト				算出根拠					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
			-	-					
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	本件拠出金は、我が国が関係するプロジェクト（政府代表者会合および総会にて実施の可否を決定された）に要する費用として、我が国からの要請に応じてIAEAからプロジェクトへ割り当てられるとともに、プロジェクト終了後に発生した残金は、リザーブファンド（注）へ移管され、翌年以降のプロジェクト予算に充当しており、無駄が発生しないよう運用に努めている。また、各プロジェクトは、政府代表者会合および総会にてプロジェクト進捗等が報告され、レビューされており、適切な成果が得られるよう実施されている。 （注）プロジェクトが終了した後の残金を各勘定科目に残さずに、リザーブファンドとしてひとつの科目にまとめて移管し、新プロジェクトに充当可能としているもの。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
	—		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			